

市教委ニュース

第240号(令和6年12月4日発行)

交野市小・中学校教職員研修の実施

11月20日(水)、中学校区の特色を活かしてこれまで進めてきた小中一貫教育の取組みの成果や課題を踏まえ、取組みの更なる推進をはかるために研鑽を深め、今後の実践や研究に結びつける資質・指導力の向上をめざすことを目的として、すべての教職員を対象に研修を実施いたしました。

第1部では、第三中学校区の星田小学校・妙見坂小学校・旭小学校・第三中学校による公開授業を、そして第2部では第三中学校区の取組み報告に加え、花園大学 社会福祉学部 児童福祉学科 藤井 浩史 教授から「協働的な学びで分かち合う喜び」をテーマとしたご講演をいただきました。



なかまとともに協働的に学ぶ姿

第三中学校区の公開授業及び取組み報告からは、校区の「めざす子ども像」に向けた教育活動の実践成果が発信され、小中9年間の系統的な教育活動及び授業実践の重要性を改めて考える機会となりました。



藤井教授のご講演からは、「協働的な学び」を通して期待できる効果について具体的に提示いただき、子どもたちの学びを深める授業づくりに係るご助言等もいただきました。



“協働的な学びを通して、
個々の学びを深めることができる”



藤井教授のご講演より